

●「第 39 回さっぽろホワイトイルミネーション」「第 18 回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」について

大通公園をメイン会場に、11 月 22 日から 2020 年 3 月 15 日まで「第 39 回さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。

さっぽろホワイトイルミネーションは、観光都市・札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を市民や観光客に発信しています。

また、大通公園西 2 丁目では 11 月 22 日から 12 月 25 日まで「第 18 回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催します。国内外から 34 店舗が出店し、ドイツのホットワイン「グリューワイン」やドイツ料理、クリスマス雑貨などを販売するほか、ドイツの雰囲気を感じることのできるさまざまなイベントを実施します。

「日本新三大夜景都市」である札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を、多くの市民・観光客の皆さまに楽しんでいただきたいと思います。

1 第 39 回さっぽろホワイトイルミネーションについて

(1) 会場・会期（各会場コンセプトは別紙参照）

会場名	場所	会期
大通会場	大通公園西 1 丁目 ～6 丁目	11 月 22 日（金）～ 12 月 25 日（水）[34 日間]
駅前通会場	北 4 条～南 4 条	11 月 22 日（金）～ 2020 年 2 月 11 日（火・祝）[82 日間]
南一条通会場	南 1 条西 1 丁目 ～3 丁目	11 月 22 日（金）～ 2020 年 3 月 15 日（日）[115 日間]
札幌市北 3 条広場 （アカプラ）会場	北 2 条西 4 丁目、 北 3 条西 4 丁目	
札幌駅南口 駅前広場会場	北 5 条西 3 丁目	

(2) 点灯時間・使用電球個数

① 点灯時間

ア 大通会場・駅前通会場・南一条通会場 16：30～22：00

※12 月 21 日（土）～25 日（水）は 16：30～24：00

イ 札幌市北 3 条広場（アカプラ）会場 16：30～22：00

※2020 年 2 月 1 日（土）～11 日（火・祝）は 20：00～24：00

※2020 年 2 月 12 日（水）～3 月 15 日（日）は 17：00～22：00

ウ 札幌駅南口駅前広場会場 17：00～24：00

※期間中に一度、日没時間に合わせて開始時刻を変更

② 使用電球個数：約 81 万個

※過去 2 番目の多さ（過去最多は 2016 年度の約 83 万個）

2 第18回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo について

- (1) 開催期間
11月22日（金）～12月25日（水）（34日間）
- (2) 開催時間
11：00～21：00（飲食店のラストオーダー20：45）
- (3) 会場
大通公園西2丁目
- (4) 出店舗数

	海外出店者	国内出店者	合計
物品販売店	2店舗	17店舗	19店舗
飲食店	2店舗	13店舗	15店舗
合計	4店舗	30店舗	34店舗



(5) 各種イベント

全147回のイベントを開催。屋外ステージや屋内施設「ヴァイナハツパビリオン」において、ドイツやミュンヘンの雰囲気を感じることのできるイベントを多数開催する。

① プレゼントデー（全10回）

日時：毎週日曜日

（11月24日、12月1日、8日、15日、22日）

12：30～、14：00～

場所：屋外ステージ

内容：各店舗で1,000円以上お買い物をした方の中から抽選で素敵な景品をプレゼント。航空券やバラエティーに富んだ賞品をプレゼントする。



② アカペラワークショップ【新規】

日時：11月23日、12月1日、8日、15日、22日

場所：屋外ステージ

内容：例年人気のアカペラソングステージに今年は出演者が来場者にレクチャーし、一緒に合唱するワークショップを実施。クリスマスソング歌詞カードを配布し、会場を離れてもクリスマスを楽しんでいただく。

③ みんなでつくるクリスマスツリー【新規】

場所：ヴァイナハツパビリオン

内容：パビリオン内にメッセージカードを制作できるコーナーを設置。自由にメッセージや願い事を書き込んで、パビリオン内のツリーに装飾する。

④ 謎解きイベント「ミュンヘン・クリスマス市のトナカイを探せ」

日時：毎日11：00～21：00

場所：大通公園西2～5丁目

内容：ミュンヘン・クリスマス市会場・さっぽろホワイトイルミネーション会場に散りばめた謎を解いていく体験型イベント。参加した子ども（小学生以下）には会場内に設置するプレゼントBOXに入っているお菓子をプレゼントする。

(6) 市民参加の取り組み（食器洗浄ボランティア）

公募によるボランティアに、会場で使用するリターナブル食器（洗って再利用できる食器）の回収や洗浄を行っていただく。（ボランティア募集期間：10月31日～12月24日）

3 オープニングセレモニー

- (1) 日時：11月22日（金）16：30～17：00（点灯は16：50頃を予定）
- (2) 場所：大通公園西3丁目「ブルーミング・ファウンテン」前
- (3) 内容：主催者あいさつ、開催宣言、点灯カウントダウン、コラボレートソングの紹介等

4 環境に配慮した取り組み

(1) LED 電球の使用

会場内で使用する全ての電球について、白熱電球に比べて消費電力が少ないLED電球を使用する。

(2) バイオディーゼル燃料（BDF）による発電

大通公園に発電機を設置して、大通会場1丁目・3丁目・4丁目で使用する電力の約8割を自家発電で賄う。燃料には、ミュンヘン・クリスマス市会場内店舗や市民から回収した廃食油から精製したBDFを使用する。なお、今年は新たに、回収に協力いただいた方にオリジナルエコバッグをプレゼントする。

(3) ペレットストーブの設置

ミュンヘン・クリスマス市会場内施設「ヴァイナハツパビリオン」の暖房に、北海道木質ペレット推進協議会の協力により、間伐材などを加工して作られる木質ペレットを燃料とする環境への負担が少ないペレットストーブを使用する。

(4) カーボンオフセットの実施

さっぽろホワイトイルミネーション大通会場、ミュンヘン・クリスマス市会場で使用した電力量から算出した二酸化炭素の排出量に相当するクレジットを購入し、環境に配慮した取り組みを行う他の事業を支援することで、排出量の埋め合わせを行う「カーボンオフセット」を行う。

<参考>

1 さっぽろホワイトイルミネーションについて

日本初のイルミネーションとして、1981年にわずか1,048個の電球で始まった「さっぽろホワイトイルミネーション」は、札幌の美しい雪景色を光で表現するというユニークなコンセプトにより、当時全国的に大きなインパクトを与え、日本中にイルミネーションが広がる先駆的な役割を果たしてきた。その後も、LED化やバイオディーゼル燃料を取り入れながら進化を続け、観光都市札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を市民や観光客に発信している。

また、2017年10月20日には、夜景観光における国内唯一の事業団体である一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローから、長崎県「ハウステンボス『光の王国』」や栃木県「あしかがフラワーパーク『光の花の庭』」とともに「日本三大イルミネーション」に認定された。

2 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoについて

札幌市とドイツ・ミュンヘン市の姉妹都市提携30周年を記念して2002年に始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は、ドイツの伝統的な年中行事の一つであるクリスマス市を大通公園で再現することによって、市民が異文化に親しむ機会を提供するとともに、観光閑散期である初冬の集客交流促進のために発展してきた。2018年度は138万人来場（過去最多は2015年度の約138万1千人）。

問い合わせ先

さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内） 山上・佐藤・岩川
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課 辻本・伊倉
電話：211-2376、ファクス：218-5129

「第39回さっぽろホワイトイルミネーション」の会場コンセプト

1 大通会場（1～6丁目）コンセプト

① 1丁目会場「約束の『ラブ・ツリー』」

テーマは「LOVE」。赤く輝くハートがモチーフのラブ・ツリーとハート型のフォトスポットを会場中央に設置。ラブ・ツリーのハートイルミネーションを6個から9個へ追加する。また、会場テーマカラーの赤を基調としたグランドイルミネーションを設置する。



② 2丁目会場「第18回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」

ドイツの伝統的なクリスマスピラミッドをモチーフにしたオブジェ「Gift of Snow」が進化し、アイテムやパーツが追加。

期間中にオーナメントを作成するワークショップを開催し、出来上がったオーナメントをピラミッドに飾ってもらい、世界に一つだけのオブジェを制作する。



③ 3丁目会場「花咲く『ブルージング・ファウンテン』」

会場中央の噴水にライラックの花をモチーフにした大型のオブジェを設置する。前回、ブルーを基調としていたグランドイルミネーションをパープルに変更する。



④ 4丁目会場「輝きの『ジュエリー・パレス』」

ダイヤモンドをモチーフにした光の宮殿「ジュエリー・パレス」や光の噴水「スパークファウンテン」のほか、ダイヤモンドオブジェやテレビ塔を背景に撮影できるフォトスポット、ブルーグリーンを基調としたグランドイルミネーションを設置する。

また、通路の路面へダイヤモンド等を照射する演出を新たに取り入れる。シャンデリアを4個から8個へ追加するほか、テーマカラーをゴールドとブルーグリーンへ変更する。



- ⑤ 5丁目会場「微笑みの『トゥインクル・ガーデン』」
来場者が気軽にホットドリンクやフードを楽しめる休憩スペースを設置するほか、ゴールドに輝くシンボルツリーやグランドイルミネーション、ガーデン風フォトスポットを設置する。シンボルツリーを3個から4個へ追加する。



- ⑥ 6丁目会場「煌めきの『フォレストサークル』」
大きな樹木が立ち並ぶ空間で、グリーンに輝く光の迷路を設置する。センターにはクリスマスツリーが登場し、白いシャイニングボールやグリーンを基調としたグランドイルミネーションを設置する。



2 駅前通会場

JR 札幌駅前からすすきのまでの中央分離帯の立木にLED装飾し、札幌の冬のメインストリートを彩る。



3 南一条通会場

南1条西1丁目～3丁目間の、南北歩道両脇の街路樹(イチョウ)にLEDを装飾する。



4 札幌市北3条広場（アカプラ）会場・札幌駅南口駅前広場会場

- ① 札幌市北3条広場（アカプラ）会場「アカプライルミネーション」
北海道に現存する最古の街路樹である、アカプラのイチョウ並木を光で演出する。変幻自在な色を表現できるLEDを用いたイルミネーションを設置し、北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）を望む札幌を象徴する美しい景観を一層鮮やかに演出する。また、サウンドアーティストの大黒 淳一氏による音楽と光を連動させた演出を行う。



©Doppietta photo

- ② 札幌駅南口駅前広場会場「エキヒロイルミネーション」
JRタワー外壁に面したプラットフォームや、メインとなる高さ10メートルのデザインツリーの光の装飾により、札幌の玄関口を華やかに演出する。

